

2026年度FCT会員交流会企画・運営業務委託 企画提案依頼書

2026年2月13日
FinCity.Tokyo事務局

目 次

1. 委託の背景・目的 3
2. 交流会の開催方針 4
3. 委託事項、提案を求める事項 5
4. 提案にあたっての条件 6
5. 交流会の運営方法、必要な体制、ロジに関し最低限必要な内容 7
6. 契約内容、受託者の選定方法等 9
7. 提案書、プレゼン動画等の作成方法など 10
8. 当面のスケジュール(暫定) 12
9. 支払い方法・業務履行にあたっての留意点 13
10. 権利の帰属 14
11. 親族関係に関する申告の要請 15
12. 契約候補者選定に係る審査要領、選定にあたって評価する項目、要素、配点等 16

1 委託の背景・目的

- 一般社団法人東京国際金融機構(FinCity.Tokyo)(以下、「FCT」という。)では、設立以来、会員企業や国内外金融関係者との連携・協力の下、海外ロードショーの実施、国内外での金融イベントの開催など、各種プロモーション活動を実施している。また、こうした活動を通じて得られた国内外金融関係者からのフィードバックを基に、海外からの資金・人材の呼び込みの障壁となる法制、税制の改正などを目指し、政策提言活動を実施している。
- 昨今の国際金融情勢に目を向けると、米国のいわゆる「トランプ2.0政策」などの影響により、国際金融を巡る情勢は不確実性を増しているが、東京は、このような状況を逆にチャンスと捉えるべきとの有識者の声もある。
- 海外の投資家、金融関係者の注目が東京に集まっているこの時機を逃さず、海外から資金・人材を呼び込むためには、これまで以上に会員企業との連携を強化するとともに、会員企業や国内外金融関係者の持つ専門的知見・ノウハウをより一層活用することで、FCTのプロモーションの質の向上、政策提言能力の強化を図る必要がある。また、新たな会員企業の獲得を図り、FCTの組織力の強化、多様性の確保を図ることも重要である。
- そこで、FCT、FCT会員企業、その他国内外金融関係者が一堂に会する交流イベント(以下、「交流会」という)を開催することとし、知見のある外部事業者からの企画提案を募り、運営を委託することで、参加者同士の議論、コミュニケーションを通じた相互理解の向上、新たな知見の獲得、関係強化を図る。また、交流会を契機として会員勧誘を図る。こうした取組を通じ、FCTの情報発信の質の向上、政策提言内容の充実を目指す。

2 交流会の開催方針

- **プログラム**

FCT会員企業、国内外金融関係者(機関投資家、資産運用会社、銀行、証券、政府関係者など)を広く招待し、基調講演・パネルディスカッション・ネットワーキングを開催するイベント形式の他、比較的小規模なラウンドテーブル、勉強会を開催する形式等を想定

- **実施規模**

イベント形式:100~150名程度、ラウンドテーブル・勉強会形式:20名~30名程度を想定

- **実施会場**

交流会の企画内容に応じ、都内ホテルのレセプションルーム、都内金融関連施設のホール、会議室等を想定

- **実施時間**

イベント形式:半日程度、ラウンドテーブル・勉強会形式:2時間程度

- **実施形式**

対面開催またはハイブリッド開催(対面+オンライン配信)を想定

- **実施時期**

年間3回程度、FCTが指定する時期に実施する。

【参考】2025年度実績 第1回:10月、第2回:12月、第3回:2月

3 委託事項、提案を求める事項

- 委託事項

交流会(年間3回程度)の企画・運営、これに附随する業務の実施

- 提案を求める事項

- 交流会でFCTが発信、議論すべきテーマ・トピックス
- 交流会でFCTが実施すべきプログラム(基調講演、パネルディスカッション、ラウンドテーブル、勉強会、ネットワーキングなど)
- 上記プログラムの登壇候補者、招聘候補者
- 交流会を開催するために必要かつ適切な会場候補
- 交流会への参加者を募るための広報、告知の方法
- 交流会の運営方法、運営に必要な体制、ロジ

4 提案にあたっての条件

- 4頁記載の開催方針を踏まえて提案すること。ただし、FCT、FCT会員企業、国内外金融関係者の連携強化を図る観点から、開催方針と異なる内容を提案することを妨げない。
- 交流会で「FCTが発信、議論すべきテーマ、トピックス」、「実施すべきプログラム」、「登壇候補者、招聘候補者」は、3頁記載の委託の背景・目的を踏まえて提案すること。
- 交流会の会場は、受託事業者が確保すること。会場案の提案にあたっては、確保の実現可能性を踏まえた提案とすること。ただし、FCTが別途会場を指定する場合がある。その場合はFCTと協議の上、FCTが指定した会場で交流会を開催すること。
- 交流会への参加者を募るための広報、告知の方法は、FCT会員企業、国内外金融関係者の関心を惹き、効果的に参加を促す内容を提案すること。
- 交流会の運営方法、必要な体制、ロジは、7頁～8頁記載の「最低限必要な内容」を踏まえた内容を提案すること。
- 交流会の開催に必要な会場借上げ、広報、イベント当日の運営、通訳、登壇者への謝礼(必要な場合)、レセプションやネットワーキングの際に提供する飲食等に係る費用は、全て9頁記載の委託料から支出すること。FCT、受託事業者以外の第三者への支払いが必要な場合は、受託事業者が当該支払業務を行うこと。

5 交流会の運営方法、必要な体制、ロジに関し最低限必要な内容(1/2)

- 事前準備
 - 交流会全体の企画立案
 - 交流会関係者(FCT、登壇者、司会者、協力団体・組織、その他FCTが指示する者等)との連絡・調整
 - Webページの作成、SNSコンテンツの作成
 - 広報・告知・集客(上記Webページ、SNSコンテンツの他、メディア媒体への記事広告掲出など金融メディアの活用等を含む)
 - 参加者の募集、管理
 - 進行マニュアル、参加者への配布物、参加者アンケート等の作成
- 当日の運営
 - 必要な進行管理
 - 参加者の受付、問い合わせ対応
 - 登壇者、参加者向けの通訳対応(日本語・英語)
 - オンライン配信(企画の内容に応じ必要な場合)
 - 事後広報、報告書用写真撮影、動画撮影
 - 地震、火災、テロなど、緊急事態発生時の対応(登壇者、参加者の避難誘導等)

5 交流会の運営方法、必要な体制、ロジに関し最低限必要な内容(2/2)

- 交流会終了後の対応

- 開催結果の分析(アンケート集計、参加者属性分析等)、開催報告書の作成・提出(翌年度のイベント開催に向けた改善点を明確にすること)
- 交流会当日に収録した動画、写真等のアーカイブ配信

- その他

- 上記に挙げた事項以外にも、トラブルや事故のない適切なイベントの運営を確保することを前提に、実施の効果を最大化するための運営方法、ロジの内容、実施体制を提案すること。また、効率性やコストの観点も踏まえた提案とすること。
- 海外の登壇者、参加者等に対する英語での連絡、調整、協議、案内に対応可能な担当者、体制を確保すること。

6 契約内容、受託者の選定方法等

- 契約期間 : 2026年4月1日～2027年3月31日
- 委託金額 : 1,500万円(税込)
- 受託者選定方法 : プロポーザル方式
- 評価 : 提案内容、経費積算書の内容を総合的に判断して、最も優れた1社を選定
- 納品物 : 報告書(アンケート集計、参加者属性分析などの統計データ等を含む)

7 提案書、プレゼン動画等の作成方法など(1/2)

【提出が必要なもの】

- 本RFPに係る提案書
- 本RFPに係る経費積算書
- 上記提案書に係るプレゼン動画

【作成方法】

- 提案書
 - 本RFP記載の委託業務の内容の全てについて提案を行うこと
 - 日本語で作成すること
 - 書式、分量は任意とするが、提出時はPDF形式とすること
- 経費積算書
 - 本RFP記載の委託業務の全てについて実施するために必要な経費を見積もること
 - 見積総金額について、項目ごとの内訳を示すこと
- プレゼン動画
 - 提案書記載の提案内容について、審査員向けに分かりやすく日本語で説明すること
 - 説明者は任意とする
 - 形式はmp4形式とし、時間は30分以内とする

7 提案書、プレゼン動画等の作成方法など(2/2)

【提出方法】

以下の提出先までメール、大容量ファイル送信サービス等により提出すること

提出後、別途メールまたは電話で提出が完了した旨を事務局に連絡すること

(提出先) FCT事務局 メール:contact@fincity.tokyo 電話:03-5614-0063

【提出期限】

2026年3月6日(金)17:00

8 当面のスケジュール(暫定)

- 2月13日(金)～3月6日(金)

RFP公表

- 3月6日(金)17:00

提案書等提出期限

- 3月9日(月)～3月23日(月)

書類審査により契約候補者を選定

- 4月1日(水)

契約締結、事業開始

9 支払い方法・業務履行にあたっての留意点

- 契約に関する納品物(業務の最終報告書等)をもって2026年度末までに支払う。
- 本事業の企画・運営にあたっては、無理のないスケジュールを立案の上、適切な進行管理を行い、期限を遵守するとともに、確実に業務を執行すること。
- 本事業を円滑に推進するため、事業の実施方針や進め方、技術的対応等について、FCTと十分に調整を図るとともに、FCTから申し出があった場合には、速やかに本委託業務の進捗状況を報告すること。
- 契約金額には本業務の履行にかかる一切の費用を含むものとし、金額的に実施不可能な提案は行わないこと。
- 本事業の提案・実施に当たり知りえた情報については、他の目的で使用し又は第三者に開示しもしくは漏洩してはならないものとする。本事業終了後も同様の取扱いとする。
- 本事業は、2026年3月FCT理事会にて、FCT事業計画が承認され、かつ東京都の2026年度歳入歳出予算が、2026年3月31日までに東京都議会で可決された場合において、2026年4月1日に確定させるものとする。

10 権利の帰属

- この仕様書に基づく業務により、作成された作成物に係る著作権の全ては、FinCity.Tokyoに帰属するものとする。受託者は、FinCity.Tokyo及びその指定する者に対して成果物の著作権者人格権の行使をしないこと。
- 作成等に当たり第三者の著作物を利用する場合には、当該第三者から受託者が適切な許諾を得ておくこと。なお、委託完了後もFinCity.Tokyoが無償で著作物を利用できるようにすること。
- 作成等に当たり、他者の著作権を含む知的財産権、肖像権その他のいかなる権利も侵害しないこと。万一他者の権利に抵触した場合は、受託者の責任と費用をもって適正に処理すること。

問い合わせ先

一般社団法人東京国際金融機構(FinCity.Tokyo)

メール:contact@fincity.tokyo

11 親族関係に関する申告の要請

- 貴社の役員又は役員以外で本件への応募の意思決定に関与した方に、一般社団法人東京国際金融機構の役員(理事及び監事)との親族関係があるときは、契約候補者となった場合、その旨の申告をお願いいたします。
- 申告すべき「親族」の範囲は「配偶者、生計を同一とする者(未成年者の子を含む)」を最低限とし、それ以外の親族についても、知りうる限りにおいて該当があれば申告いただきます。
- 親族関係の有無を理由として、審査において不利益な取扱いをすることはありません。

12 契約候補者選定に係る審査要領、選定にあたって評価する項目、要素、配点等(1/2)

審査要領

1. 次頁記載の審査項目について、審査員が採点を行う。
2. 各審査員は、採点の合計得点が最も高い提案者に投票を行い、得票数が最も多い提案者を契約候補者とする。
3. 得票数が最も多い提案者が複数あるときは、全審査員の採点を合計した総合計得点が最も高い提案者を契約候補者とする。
4. 上記3の場合で、総合計得点も同一の提案者が複数あるときは、当該提案者の中から、審査委員長が契約候補者を選定する。
5. 契約候補者と契約できない事由が生じたとき(辞退など)は、当該候補者を除く提案者について、上記と同様の投票を行い、得票数が最も多い提案者を契約候補者とする。
6. 審査員の採点の平均が「2」未満の審査項目がある提案者は、契約候補者としない。提案者が一者のみの場合も同様とする。

12 契約候補者選定に係る審査要領、選定にあたって評価する項目、要素、配点等(2/2)

評価項目等

評価項目(各項目10点満点で採点)	素点	ウェイト	配点
①イベント運営に資する経験や知見、経費面からの実現可能性など	1～5	x2	10
②国内外金融エコシステムにおける知見や専門性、FCTのミッションへの理解度の深さなど	1～5	x6	30
③広報や集客に向けた取組に関する提案の具体性	1～5	x6	30
④テーマ設定や提案するプログラム、登壇者等の適切性	1～5	x4	20
⑤その他、企画提案における独自性など、評価すべき点	1～5	x2	10
合計点	-	-	100

Appendix

2025年度 交流会開催実績① 第1回会員交流会

日時:10月14日(火)17:00~19:00

場所:ホテル椿山荘東京 胡蝶、

参加者数:128名

開催概要

- 日時: 10月14日(火)17:00~19:00
 - トークセッション:「東京の金融エコシステムを支える資金・人材・政策」
 - 登壇者:
 - 小西昭博 国家公務員共済組合連合会参与兼CIO
 - 内山朋規 東京都立大学金融工学研究センター長
 - 橋口牧子 東京都財務局主計部公債課長
 - 大山智子 FinCity.Tokyo事務局次長(モデレーター)
 - アンケート等
- 参加目的 → 8割が「参加者同士の交流」
アセットオーナーの対談を聞く貴重な機会だった。
セッションと交流会は別の場所 or 別のタイミングにした方が良い



トークセッション登壇者



参加者集合写真

2025年度 交流会開催実績② 第2回会員交流会

開催概要

- **開催日時** : 2025年12月19日(金) 17時00分～20時30分
- **開催場所** : KABUTO ONE、KABEAT(東京都中央区日本橋兜町7-1)
- **プログラム** :

第1部:会員交流会 @KABUTO ONE ホールB

【基調講演】革新の点を繋ぎ、未来を動かす物語をデザインする
inspiring dots inc. 代表取締役CEO 重松 健 様

【パネルディスカッション】国際金融とまちづくりの接点

平和不動産株式会社 ビルディング事業部部長 本保 明香 様
三井不動産株式会社 日本橋街づくり推進部長 七尾 克久 様
三菱地所株式会社 イノベーション施設運営部長 島田 映子 様
森ビル株式会社 新領域事業部 統括部長補佐 竹田 真二 様

第2部:ネットワーキング @KABEAT

- **参加者数** : 119名
- **アンケート等** :

運営面での評価は「満足」「適切だった」が大半
重松様の基調講演が興味深かった
今後も同規模のイベントを開催してほしい 等



基調講演



パネルディスカッション



ネットワーキング

2025年度 交流会開催実績③ 第3回会員交流会

日時:2026年2月4日(水) 17:30~20:30
場所:帝国ホテル「光の間」、人数:150名程度

Time	Event	Details
17:00	開場	ご歓談
17:30-17:55 (25min)	第1部(英語) Frankfurt Main Finance(FMF)との MoU調印式	17:30-17:40 挨拶 中曽 FCT会長 FCTの今年度の活動振り返り、明日のFGFでの狙い、 今後の海外ロードショーの方針・ドイツとの連携への期待 17:40-17:50 挨拶 オリバー・バーレンス FMF会長 FCTとの連携抱負・FMFが重要視する金融分野 17:50-17:55 MoU調印式
17:55-18:40 (45min)	第2部(日本語) AI技術による金融の高度化 ～到達点と今後の展望～	17:55-18:40 パネルディスカッション
(18:40-18:45 ネットワーキング会場へ移動)		
18:45-20:30	第3部 Networking	18:45 乾杯挨拶 森田 FCT専務理事 20:00 中締め 20:30 終了

2025年度 交流会開催実績③ 第3回会員交流会

(1)MoU調印式

FCTの今年度の活動振り返り、翌日のFGFでの狙いや海外ロードショーの方針を共有するとともに、ドイツとの連携に対する期待や、Frankfurt Main Financeが重視する金融分野を踏まえ、今後の取り組みの方向性を示す。

FCT 中曽会長



Frankfurt Main Finance
オリバー・バーレンス会長



(2)パネルディスカッション:「AI技術による金融の高度化 ～到達点と今後の展望～(仮)」

AI技術が①インベストメント・チェーン(投資家・運用会社など)の強化や都民・国民の利便性向上にどのように寄与しているか、②金融機関への導入にあたってどのような課題があるか、③今後どのように発展・進化していくかなどについて、開発者・学識経験者のみなさまのご知見、会員企業のみなさまの活用事例を交えてご紹介



モデレーター

株式会社野村総合研究所
(FCT賛助会員)

証券ソリューション事業本部
証券AI開発イノベーション推進室
入江 眞氏



パネリスト①

FNZ Japan株式会社
(FCT新興企業会員)

Principal Solution Consultant
/Japan Business Lead 貝塚 元彦氏



パネリスト②

TempestAI株式会社
(FCT新興企業会員)

代表取締役社長 池田 蒼氏



パネリスト③

TempestAI株式会社
(FCT新興企業会員)

技術顧問 金 剛洙氏